

## 施策評価調書(24年度実績)

施策コード I-8-(2)

政策体系	施策名	小規模集落の維持・活性化	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	69
	政策名	地域の底力の向上 ～助け合い、支え合いによる豊かな地域生活の実現～	関係部局名	企画振興部、生活環境部、土木建築部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	生活環境の整備	安全・安心の確保	小規模集落の活性化

### 【Ⅱ. 目標指標】

指標	関連する取組No.	基準値		24年度			25年度	27年度	目標達成度(%)											
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125							
i 安全な生活用水の確保が困難な集落数(集落)	①	H23	123	119	117	101.7%	115	107												
ii 小規模集落から幹線道路へのアクセスを改善した集落数(集落)	①	H22	20	43	46	107.0%	63	88												
iii 小規模集落応援隊の活動回数(回/年)	②	H21	35	89	94	105.6%	94	106												
iv 集落支援員・地域おこし協力隊設置市町村数(市町村)	③	H21	4	9	10	111.1%	12	17												
v 小規模集落・里のくらし支援事業取り組み地区数(地区)	②③	H20	15	61	67	109.8%	73	97												

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理由等		平均評価
i 達成	地域の現状にあった給水施設の整備等、これまでの実績により、安全な生活用水の確保が困難な集落が減少し、平成24年度は目標値を達成した。		達成
ii 達成	一般県道弓立上戸次線(佐渡川工区)などの整備により、新たに12集落のアクセスが改善されたため、目標値以上を達成した。		
iii 達成	これまでの実績や広報等により、小規模集落応援隊の制度が集落に浸透しつつあり、応援隊を要請する集落数が増えたため、目標値を達成した。		
iv 達成	市町村を対象とした「小規模集落対策担当課長・職員会議」や、「集落支援員・地域おこし協力隊合同研修会」において、集落支援員等を設置していない市町村に対し、先進事例の情報提供等を行った結果、市町村の理解が深まりつつあり、目標値を達成した。		
v 達成	平成20年度から始めた「小規模集落・里のくらし支援事業」は、振興局又は市町村単位で実施する「地域対策会議」や、知事を本部長とする「小規模集落対策本部会議」等を通じて市町村及び集落に定着しつつあるため、目標値を達成した。		

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	(指標により評価)
②	・各振興局において、地域対策会議の開催等により地域の様々な課題を把握し、対応した結果、集落の維持・活性化につながった。
③	・地域活性化総合補助金等も活用し、小規模集落の活性化を支援した結果、集落の維持活性化につながった。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(24年度事業)	事業コスト(千円)	25年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	地域給水施設整備支援事業	34,000	終了	93
	暮らしの道再生事業	745,000	終了	231
	道路改良事業	4,755,388	継続	232
	生活交通路線支援事業	83,061	継続	29
②	小規模集落・里のくらし支援事業	73,316	継続	10
	買い物弱者支援事業	36,721	継続	11
③	地域活性化総合補助金	599,849	継続	15

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会(H25.2.20)          ・子育て、高齢者対策、在宅医療、災害など地域で連携がとれるような地域の絆づくりへの助成などを実施してはどうか。</p>	
---	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の道路施設活用等により、低コストかつ短期間に生活関連道路の機能を向上させる地域ニーズに応じた小規模な工事等を実施する。</li> <li>・地域公共交通機関の維持確保のため、国の補助制度の活用やコミュニティバス等の運行効率の向上を図り、路線の安定的維持を図る。</li> <li>・広域的に支え合う仕組みづくりに向け、支援対象地域や補助限度額の拡充、補助率引き上げによる地域負担の軽減など補助事業の拡充を図る。</li> </ul>